

第29回 土木鋼構造研究シンポジウム

—構造物の長期耐久性と維持管理に関する技術動向—

日本鉄鋼連盟では、1995年度より「鋼構造研究・教育助成制度」を設け、鋼構造に携わっておられる研究者を対象に研究助成事業を実施しており、毎年、研究成果ならびに関連テーマに関するご報告の場として「土木鋼構造研究シンポジウム」を開催しております。

第29回を迎える今回は、構造物の長期耐久性と維持管理に関する技術動向の講演を予定しています。基調講演ではスマートインフラマネジメントシステムの構築について、特別講演では地下埋設インフラメンテナンスに関する講演を予定しております。

ぜひ多くの皆様のご参加を賜りたく、ご案内いたします。

日 時：2026年3月23日（月）13:30～17:30（後日、オンデマンド配信を予定）

会 場：①鉄鋼会館 801号室（定員100名）
②ライブ配信（①、②合わせて定員1000名）

主 催：一般社団法人日本鉄鋼連盟

後 援：一般社団法人日本鋼構造協会、一般社団法人鋼管杭・鋼矢板技術協会、公益社団法人工木学会
公益社団法人地盤工学会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人日本橋梁建設協会



時間・演題・講師（都合により時間・演題・講師が変更になる場合があります）

総合司会：日本鉄鋼連盟 土木委員会 委員長 平田 尚

13:30～13:35	日本鉄鋼連盟 建設企画委員会 委員長 挨拶 日本製鉄株式会社 常務執行役員 厚板・建材事業部長、棒線事業部長 園田 裕人
13:35～13:40	座長挨拶 城西大学 学長（東京大学 名誉教授、横浜国立大学 名誉教授） 藤野 陽三
13:40～14:20	—基調講演— 「SIP 第3期 スマートインフラマネジメントシステムの構築」 東北大学 大学院 教授 久田 真
14:20～15:50	「鋼構造物の被覆防食に関する長期耐久性の研究」 被覆防食の長期暴露試験による耐久性評価—駿河湾・沖ノ鳥島における海洋暴露試験結果— 国立研究開発法人 土木研究所 先端材料資源研究センター 上席研究員 富山 穎仁 波崎海洋研究施設等における被覆防食工法の長期海洋暴露試験の成果 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域 主任研究官 小池 賢太郎 各種暴露試験を基にした重防食被覆の耐久性評価手法の確立に向けて 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域長 山路 徹
15:50～16:00	休憩
16:00～16:40	「ドローンを活用した港湾施設の点検・調査効率化に関する技術開発・実証」 神戸市立工業高等専門学校 准教授（Universal Hands 社） 清水 俊彦
16:40～17:20	—特別講演— 「地下埋設インフラメンテナンス」 東京大学 生産技術研究所 教授 桑野 玲子
17:20～17:30	総評・副座長挨拶 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 理事 港湾空港技術研究所長 河合 弘泰

受講料：無料

申込方法：下記ホームページの申込フォームからお申込みください

ホーム > 各種ご案内 > 催し物のご案内 > 第29回土木鋼構造研究シンポジウムの開催について
www.jisf.or.jp/info/event/dobokushinpo/29_20260323.html

会場参加の方は参加申込受付時に返信される確認メールを印刷の上、当日会場にお持ちください

問合せ先：一般社団法人日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ

TEL：(03)3669-4815 FAX：(03)3667-0245 E-mail：dobokushinpo@jisf.or.jp

申込締切：2026年3月9日（月）必着 ※定員になり次第、締め切らせていただきます